

## 8. 病害虫発生予察情報の活用について

病害虫発生予察情報は、病害虫の防除を適時かつ効率的に行うことを目的として、病害虫防除所が提供している。

### (1) 病害虫発生予察情報の種類

次のア～オの5種類を公表している。

#### ア. 警報

重要な病害虫が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表する。

#### イ. 注意報

警報を公表する程度ではないが、重要な病害虫が多発生することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表する。

#### ウ. 予報

病害虫の発生状況調査とその解析に基づいて、定期的に発表する。

主要農作物の病害虫について発生時期、発生程度、発生地域およびそれらの平年比、防除上注意すべき事項（防除時期など）を記述している。

#### エ. 特殊報

県内で発生が確認されていなかった病害虫を発見した場合や、これまでとは違う特異的な発生をする現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に、当該病害虫の特性、防除方法に関する情報を発表する。

#### オ. 防除情報

滋賀県独自の情報で、病害虫による被害を最小限にとどめるため、より早い時期に耕種的防除の実施や計画防除の検討を促す内容になっている。以下のような場合に発表する。

- ・病害虫の発生時期が通常より著しく異なる場合
- ・病害虫の発生が多いことが予想されるが、注意報を公表する程度ではない場合

### (2) 病害虫発生予察情報の提供

ア. 発生予察情報は、インターネット上の病害虫防除所ホームページで自由に閲覧できる。

滋賀県病害虫防除所ホームページ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

イ. 「しらせる滋賀情報サービス（しらがメール、しらがLINE）」の「農業情報」登録ユーザーには、警報、注意報、防除情報等を公表したことが携帯電話やパソコンに配信される。

### (3) 予察情報の読み取り方

◎予報の年間発表回数は10回(3~9月)です。

◎各号では、それぞれ向こう1か月の病害虫の発生を予想しています。

令和4年病害虫発生予報第3号

令和4年(2022年)5月17日  
滋賀県

【予報概要】  
大阪管区気象台発表では、向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。

作物名	病害虫名	時期	発生量	作物名	病害虫名	時期	発生量
イネ	葉いもち	平年並	平年並	果樹全般	カメムシ類	早	やや多
	ニカメイガ(I)	やや早	やや多		アブラムシ類	-	やや少
	イネドロオウムシ	平年並	平年並	ハマキムシ類	平年並	平年並	
野菜全般	イネミズソウムシ	平年並	やや少	ナシ	黒星病	-	平年並
	うどんこ病	平年並	平年並		ナシヒメシクイ	平年並	平年並
	アブラムシ類	-	平年並	ブドウ	灰色かび病	平年並	平年並
	ハダニ類	-	平年並		うどんこ病	平年並	平年並
アザミウマ類	-	平年並	クワコナカイガラムシ	平年並	平年並		
ヨトウガ	平年並	やや少	カキ	カキクダアザミウマ	やや早	やや多	
キュウリ	べと病	平年並		平年並	カキノヘタムシガ	平年並	平年並
ナス科野菜	疫病	平年並		やや少	チャノキイロアザミウマ	平年並	平年並
アブラナ科野菜	ニジュウヤホシテントウ類	平年並	平年並	カンザウハダニ	-	平年並	
	カブラヤガ	やや早	やや多	クワシロカイガラムシ(I)	早	平年並	
	モンシロチョウ	平年並	やや少	チャトゲコナジラミ(I)	やや早	平年並	
	コナガ	やや早	やや多				

A. イネの病害虫  
1. 葉いもち  
予報内容 発生時期：平年並  
発生量：平年並

【予報の根拠】

- ① 条刈苗での発生を認めていない。
- ② 育苗箱施肥による防除が普及している。
- ③ 気象予報では気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込み。

【防除上注意すべき事項】

- ① 不必要な条刈苗は直ちに除去する。
- ② 移植栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を育苗箱に施用、または移植時に側条施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- ③ 直は栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、は種同時施肥機を用いて土中

○気象概況  
病害虫の発生は気象との関係が深いので、気象台発表の1か月予報をはじめに掲載しています。

○予報内容の一覧表  
・発生時期と発生量についてまとめています。  
・発生時期は「早」~「遅」の5段階となっています。  
・発生量は「少」~「多」の5段階となっています。

詳しくは下記の語句を参照してください。

○根拠について  
・発生時期と量に影響する要因を記載しています。  
・発生を抑制あるいは助長する要因があります。

○注意事項について  
・防除にあたってのポイント等を記載しています。

### 語句説明

#### ①発生時期

早	平年値※より6日以上早い
やや早	平年値※より3~5日以上早い
平年並	平年値※を中心として前後2日以内
やや遅	平年値※より3~5日以上遅い
遅	平年値※より6日以上遅い

※平年値：過去10年の調査データ

#### ◎考え方

早	やや早	平年並	やや遅	遅
平年値からの日数 (マイナス日数)		平年値	平年値からの日数 (プラス日数)	
6	5~3	2~1	1~2	3~5

#### ②発生量

少	やや少の外側10%の度数の入る幅
やや少	平年並の外側20%の度数の入る幅
平年並	平年値*を中心として40%の度数の入る幅
やや多	平年並の外側20%の度数の入る幅
多	やや多の外側10%の度数の入る幅

\*平年値：過去10年の調査データの平均値

#### ◎考え方

